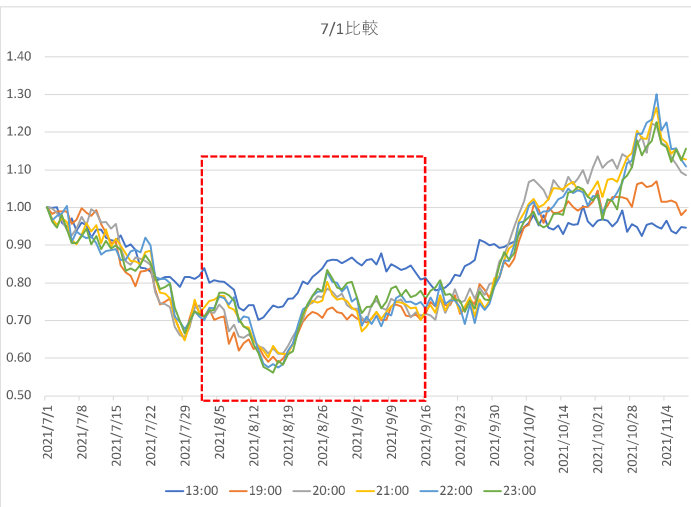


人流と感染変化率との関係（東京都）

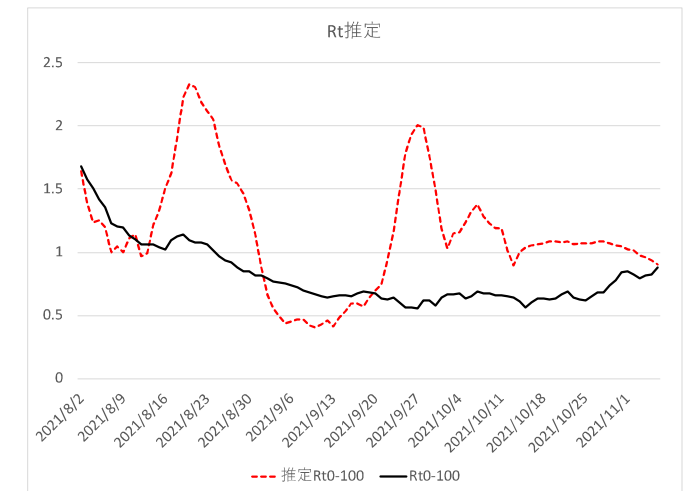
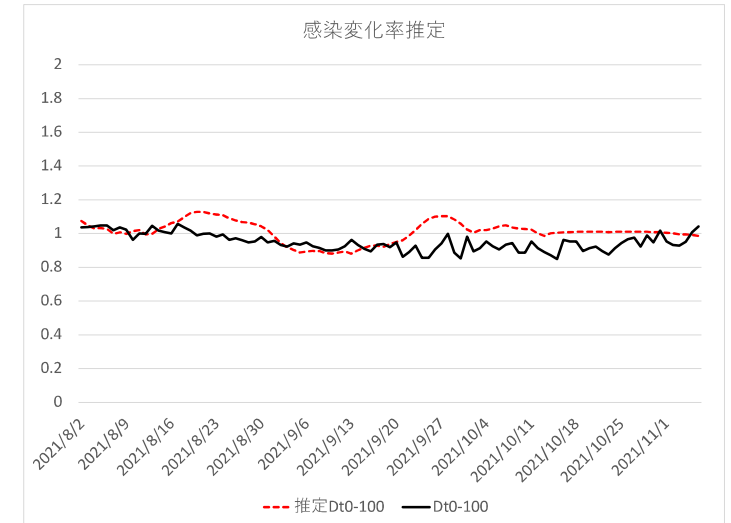
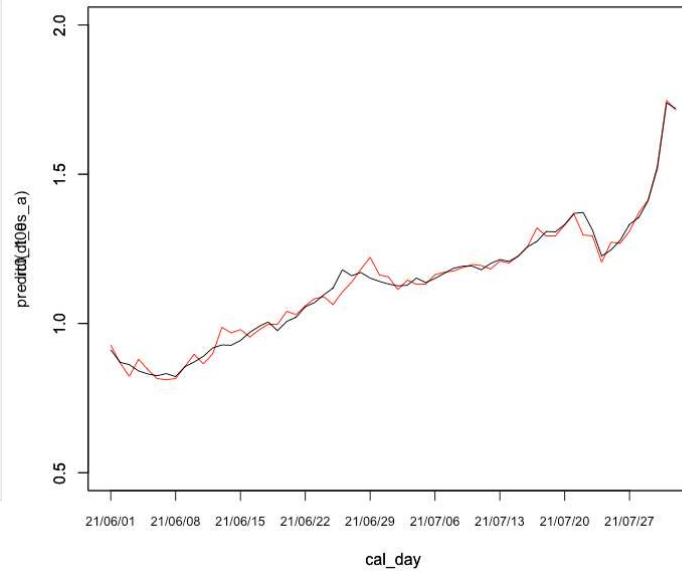
2021.11.16

筑波大学 倉橋節也

8/1時点での予測を検証し仮説生成



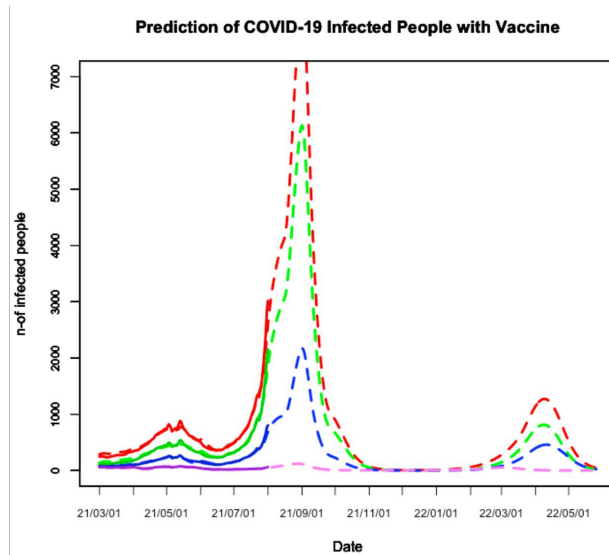
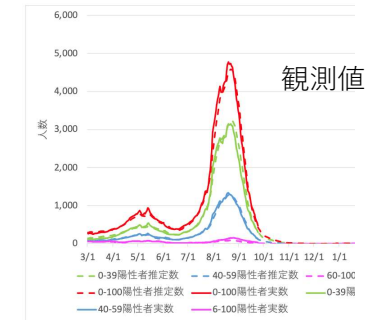
7/1以降の滞留人口変化率



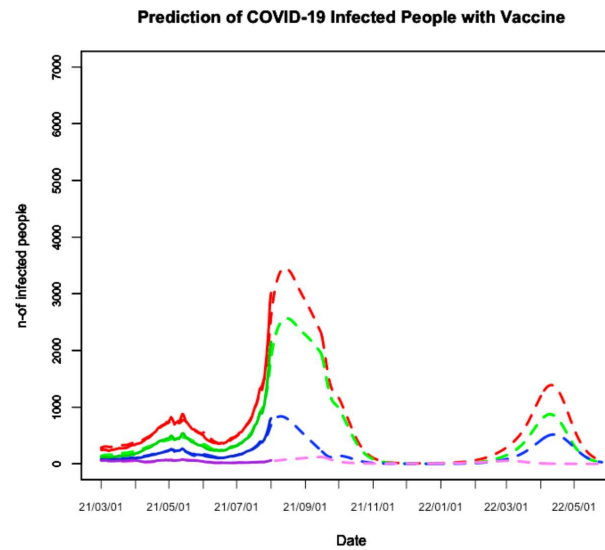
Rt推定モデルに使用した変数

- ・東京繁華街：13時滞留人口， 19時滞留人口， 21時滞留人口
- ・都外からの流入人口/日

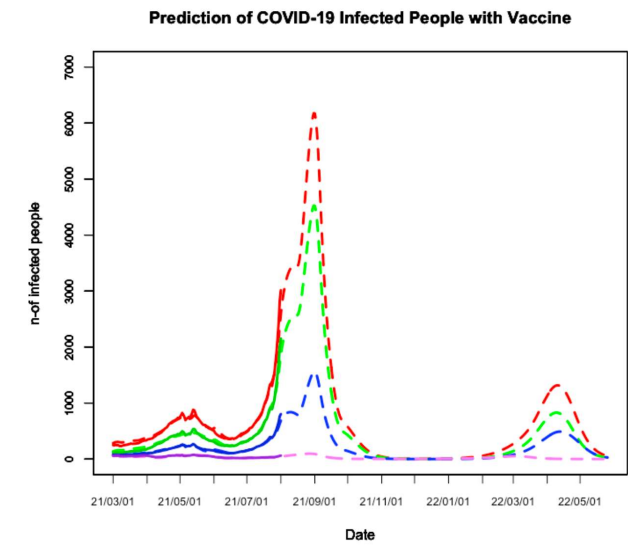
8/1時点での予測を検証し仮説生成



8/2以降の滞留人口, 流入リスク(推定)
滞留人口観測値*1.0



8/2以降の滞留人口からRtを推定して予測
流入リスクは観測値を使用



8/2以降の滞留人口, 流入リスク(推定)
滞留人口観測値*0.9

SEIRモデルに使用した推定変数

- ・ 都外からの流入人口/日
- ・ 流入リスク* (潜在的感染者流入人口)
*推定値あるいは観測値

人流だけでは過大評価になる傾向が見られる
流入リスク観測値を使用すると上振れは防げる
夜間滞留人口を10%程度過小評価すると精度が向上
仮説：ワクチン未接種者が有意に夜間繁華街を避けた、あるいは何かのリスク行動が減ったことが8月～9月の急減要因ではないか